



2009年12月22日

各 位

会 社 名 日本電気硝子株式会社  
代表者名 社 長 有岡 雅行  
コード番号 5214 東証・大証第一部  
問 合 せ 先 取締役専務執行役員 阿閉 正美  
TEL 077(537)1700

## 四半期業績の見込みに関するお知らせ

### 1. 平成22年3月期 第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日～12月31日)業績見込み

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(※)	2,280 ～2,380	550 ～600	490 ～540	260 ～290
今回見込み	2,340	620	560	350
前年同期実績	2,760	759	706	399

※前回予想:平成21年10月26日公表値

<備考>

フラットパネルディスプレイ(FPD)用ガラスの需要増を背景に、当第3四半期連結累計期間の業績は前回公表時の見通しを上回るペースで進捗しております。これにより、利益は前回予想レンジの上限を超える見込みです。なお、本年6月9日に解散を決議した中国(福建)子会社に係る税効果の影響(純利益が約50億円増加)を織り込んでいます。

### 2. 平成22年3月期 第4四半期(平成22年1月1日～3月31日)の見通し

- ・ FPD用ガラスは、先行きの需要動向には不透明感がありますが、現状では概ね第3四半期並の需要が予想されます。当社といたしましては、需要動向に即した稼働を行うとともに、生産性の改善やコスト低減を推進することにより収益性の向上を図ってまいります。
- ・ その他の事業分野につきましては、一部の製品については回復基調で推移するものと予想されますが、全体としては、本格的な回復になお時間を要する見込みです。引き続き、それぞれの市場動向に対応しつつ収益性の改善に取り組んでまいります。
- ・ 以上により、前年同期比較で売上は45%～60%程度の増収となり、860～950億円を見込み、また営業利益については64倍～76倍程度となり、275～325億円を見込んでおります。

上記の見通し数値は、現時点での合理的な判断によるものであり、実際の業績はこれらと異なる可能性があります。

以上